

ひょうご環境保全創造活動助成 活動報告書

団体名	身近な自然を楽しむ会		
団体の所在地	たつの市龍野町	代表者名	田中 義則

1. 事業名	自然観察や自然物を活用した環境学習の実施組織の立ち上げ		
2. 実施期間	平成28年4月～平成29年3月		
3. 主な実施場所	たつの市御津町 みはらしの森 たつの市揖保川町 ヤッホの森		
4. 活動形態	・団体立ち上げ ・実践活動		
5. 活動内容・結果 (参加者、階層・人数等)	<ul style="list-style-type: none"> ・春を見て、食べて、楽しもう！「in ヤッホの森」 親子、12人 五感をフル活用して、春の森を探索した。また、野草を使ったパンケーキなどを作って味わった。 ・カブトムシを見つけよう！「in みはらしの森」 親子、46人 バナナトラップをしかけカブトムシを見つけ、ライトアップに集まる昆虫の観察。 ・ひみつ基地をつくろう！「in みはらしの森」 親子、29人 ノコギリを使いひみつ基地作りとシイタケ植菌に使うコナラ、クヌギの木を伐採。 ・ひみつ基地をつくろう 第2段！「in みはらしの森」 親子、32人 ひみつ基地とブランコやターザンロープをつくり楽しんだ。シイタケ植菌。 ・カブトムシのベットを作ろう!! 「in みはらしの森」 親子、16人 落葉を集めカブトムシのベットを作り。竹のてっぽう、ウグイス笛など作成。 		
6. 成果・反響・ 反省点等	<ul style="list-style-type: none"> ・当初は子ども中心の活動であったが、保護者や地域の人々の協力も得られ始め、身近な自然の素晴らしさに気づく心や地域への愛着と思いやりが育まれた。 ・子ども達からは思いもよらないアイデアが得られ、発想力や創造力を養えた。 ・リピーターの参加者が増え始め、この活動の趣旨や目的が広まりつつあった。 ・子ども達は森などの自然の中で、自主的に活動ができるようになり、友だちや大人との非日常的なふれ合いが持てたりすることにより、日常生活では得られない貴重な体験が得られた。保護者からは、このように子ども達が生き生きと過ごせる機会を増やしてほしいとの要望が出た。 ・保護者には送迎だけでなく、活動にも興味を持って参加し、子どもの変化に気づいてほしかった。さまざまな人が楽しめるプログラムを準備したい。 		
7. 成果物	森の中に作った“ひみつ基地”		
8. 活動写真 説明	<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: flex-end;"> <div style="text-align: center;">  <p>カブトムシを見つけよう</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>みんなで作った ひみつ基地</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>しいたけ植菌</p> </div> </div>		